

まちと学校のみらいフォーラム 2012

私たちはさまざまな場で学校と地域をむすび、
より良い教育環境、まちづくりをすすめてまいりました。
地域に根ざした今までの経験と新たな思いをひとつにし、
NPO法人を立ち上げました。
このフォーラムでは皆様とともに
それぞれが学校とまちのみらいの担い手として
自らができること、共にできることを考え
新しい一歩を踏み出す契機としたいと考えています。

記念講演 金子 郁容 氏

慶應義塾大学 政策・メディア研究科教授
SFC 研究所・慶應義塾幼稚舎舎長を歴任
2010年より内閣府「新しい公共」推進会議座長
専門は情報組織論、ネットワーク論、コミュニティ論
著書に『ボランティア もうひとつの情報社会』
『日本で「一番いい」学校 地域連携のイノベーション』
『コミュニティのちから』等



K.O.E.のアカペラもお楽しみください。

- 日 時 2012年10月27日(土) 18:30~20:30
- 場 所 メロンディアあざみ野 1Fホール
神奈川県横浜市青葉区新石川1-1-9 045-909-1790
(東急田園都市線 あざみ野駅より徒歩3分)
- 参加費 3,000円 (ビュッフェスタイルで交流の時間を持ちます)
- 申 込 NPO法人まちと学校のみらいHPよりお申し込み下さい。
<http://www.npofocas.org/>

主 催 特定非営利活動法人 まちと学校のみらい
協 力 一般社団法人 たまプラーザ中央商店街

まちと学校のみらい
Future of Community And School

NPO 法人 まちと学校の未来 設立趣旨書

2011 年は私たち大人が子ども達の未来へどのような形でかかわっていけるか、大きな課題を与えられた年だったのではないのでしょうか？

3 月 11 日の東日本大震災によって再確認したことの中に、家族や地縁など人のつながりの大切さと、地域における学校の存在の大きさがありました。近年教育現場では、「学校と地域の連携」が教育改革の柱の一つとなり、子どもを核に地域と学校がイコールパートナーとしてそれぞれの役割を果たすことが求められています。

学校運営協議会が教育改革の推進役として広がりつつあり、また各地で学校支援地域本部事業など学校と地域が一体となった活動が行われています。学校と地域が日常的に連携し活動してきた被災地では、避難所運営が円滑にすすめられたことから、地域コミュニティのつながりの重要性が改めて注目されています。平成 22 年度横浜市で開催された 2 つの熟議でも、学校と地域をつなぐコーディネーターの必要性が再確認されました。コーディネーターは多様な立場の人・団体をつなぐだけでなく、それぞれの思いに心を傾け、子どもを核に共通の目標に向かっていけるよう、糸口をつくり、信頼関係を築いていくことが求められています。

地域コミュニティで営まれる生活は緩やかに広がっています。学校教育・家庭教育・社会教育の融合のみならず、あるときは福祉・文化・防災等との融合を進めることにより、より多角的な視点から学校と地域の連携を捉え、地域とともにある学校づくりとまちづくりに発展させるような制度政策の設計が必要と考えています。

私たちは教育にかかわる担い手として、それぞれの立場で責任を果たすだけでなく、大人も学び、多彩な人との出会いの喜びを感じ、地域コミュニティの一員であることを実感できるような空間や場面をつくっていきたいと考えています。

市民の視点から、学校と地域の連携の実態やコーディネーターの実践活動を間近に捉える研究と調査が必要であり、さらにはそれぞれの担い手とコーディネーターのための研修プログラムの企画・運営体制の確立が急務です。

私たちは子どもを地域全体で育み、より良い地域にしていくための営みとして、市民が日常的に教育に関わり、大人も子どもとともに学ぶ地域協働の場を創ることを使命とし、社会に貢献してまいります。

| | |
|-------|------|
| 代表理事 | 竹原和泉 |
| 副代表理事 | 竹本靖代 |
| 理事 | 大越雅美 |
| | 倉岡正高 |
| | 葉石真澄 |
| 監事 | 角方正幸 |